

コミュニティ・スクールの導入に向けて

1 コミュニティ・スクールとは

「学校運営協議会」を設置した学校をコミュニティ・スクールという。「学校運営協議会」とは、法律に基づき教育委員会により任命された委員が、一定の権限を持って、学校の運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関のこと。平成16年に改正・施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律により「学校運営協議会」の設置が可能になり、平成29年の同法の改正により、設置が教育委員会の努力義務となった。

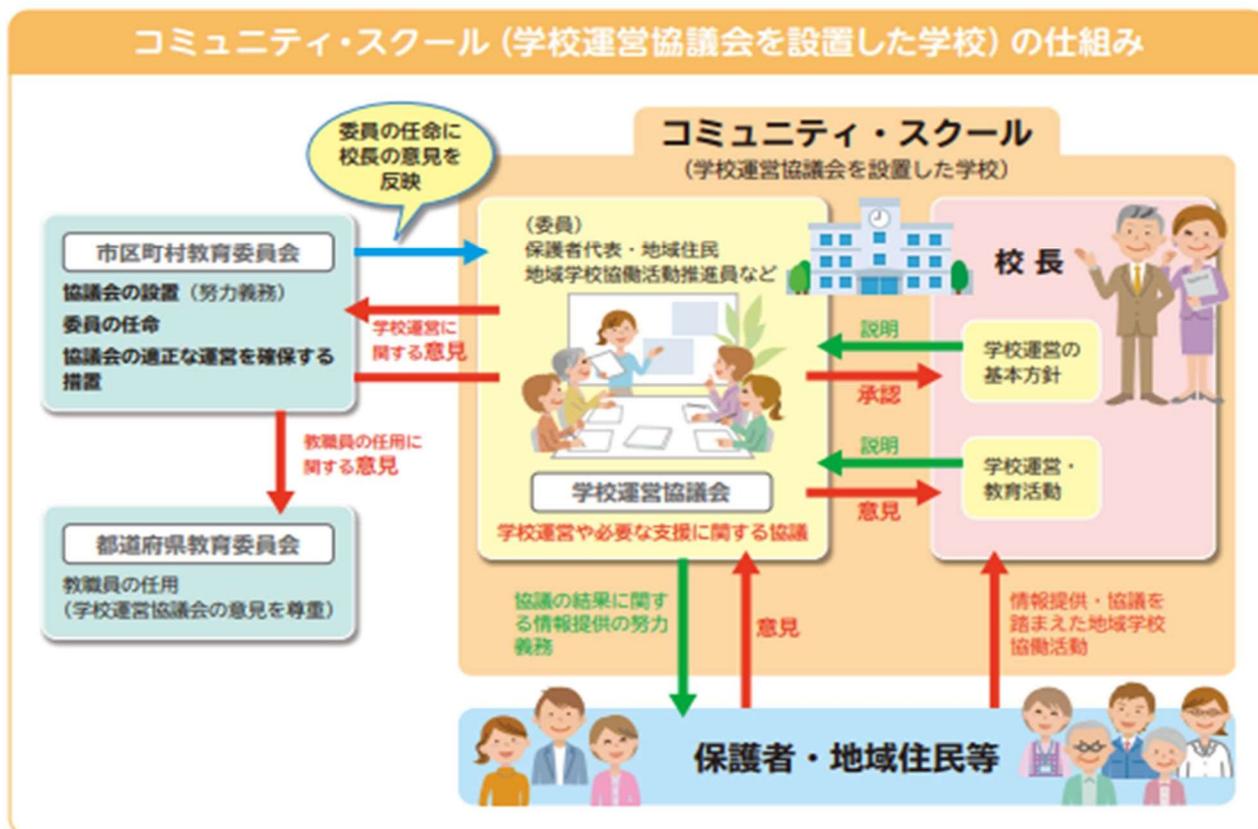
コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクール = 学校運営協議会を設置した学校

学校運営協議会とは・・・

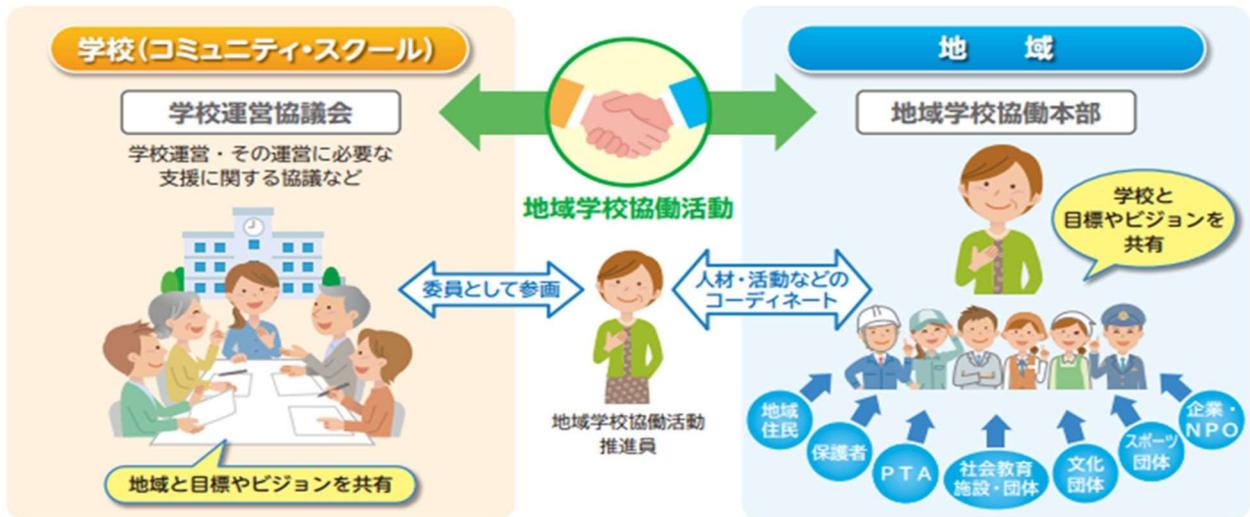
法律に基づき教育委員会により任命された委員が、一定の権限を持って、学校の運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関のことです。

コミュニティ・スクール (学校運営協議会を設置した学校) の仕組み



(出典：文部科学省ホームページ)

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一つの取組として



2 国や他自治体の実施状況

(1) 全国的な実施状況

平成17年から設置が始まり、令和5年5月時点で全国の公立小学校、中学校、義務教育学校で16,131校（全体の58.3%）に導入されている。

コミュニティ・スクールを導入している自治体数は、1,347自治体（74.3%）となっている。

(2) 尾張・愛日地区の実施状況

○尾張地区

令和5年9月時点では、35市町中19市町（54.3%）で導入されている。

○愛日地区

小牧市、尾張旭市、清須市、北名古屋市では、すでに全校に設置が完了。

瀬戸市、豊明市、東郷町では、設置が徐々に進んでいる。

春日井市、日進市、豊山町では、今年度から導入に向けて動き出している。

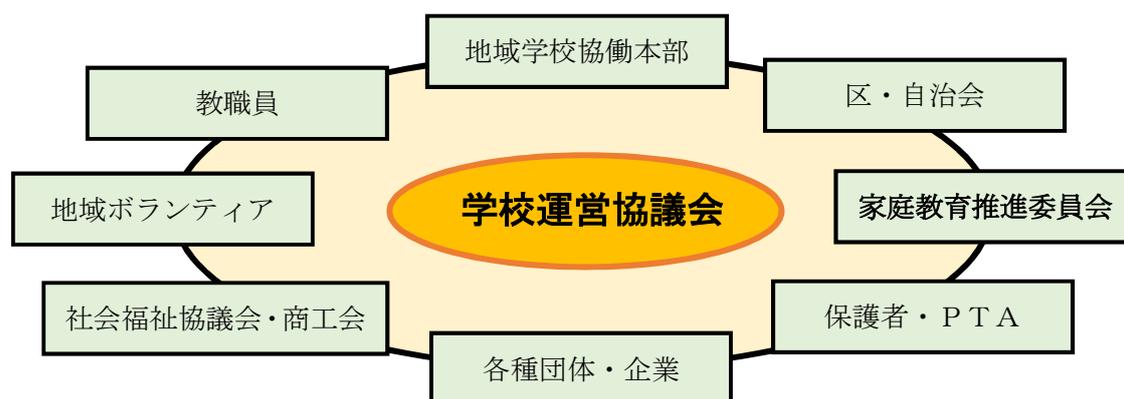
3 本市での導入に向けて

(1) 導入の目的

各校の教育目標の達成に向け、教育目標やビジョンを地域や保護者も共有して、連携・協働することで「地域とともにある学校づくり」への転換を図る。本市は、児童生徒数の増加している地区もあり、全国的な傾向とは異なる特有の課題に対し、地域に根差した活力ある地域団体等と連携・協働体制を構築することで、これまで以上に「子どもの育成」「環境整備」「安全確保」など課題解決に繋げていく。

地域全体で子どもたちの学びや成長を支える

《本市の導入イメージ》



(2) 導入の方法

- 現在も各校に存在する「学校評議員会」のメンバーを基に、保護者、地域住民、地域学校協働活動推進員、校長その他の教職員、学識経験者、教育委員会が適当と認める者等を加え、学校運営協議会を組織する。
- 委員の定数は、10～15名程度とする。委員は、各校の実情に合わせ各校で選定し、教育委員会が任命する。
- 既存の学校評議員会は年間2回の開催となっているが、学校運営協議会（モデル事業を含む）は、原則として年間3回開催する。

(3) 導入に向けたスケジュール等

【令和6年度】

- 全体的な動き
 - 日進中学校と梨の木小学校をモデル校に指定し、モデル事業を実施年度内に日進市学校運営協議会規則を制定する。
- モデル校の動き
 - ・日進中学校
 - 6月：第1回学校運営協議会（モデル事業）を開催
 - 11月：第2回学校運営協議会（モデル事業）を開催
 - 2月：第3回学校運営協議会（モデル事業）を開催予定
 - ・梨の木小学校
 - 2月：第1回第1回学校運営協議会（モデル事業）を開催予定
- 研修会の開催
 - 愛知県CS・地域学校協働活動コンサルタント派遣事業（県教委主催）の研修会を2回開催（講師はいずれも津島市教育委員会 相村明人氏）
 - 第1回 7月25日（木）市役所関係課職員対象
 - 第2回 11月5日（火）各校管理職、地域学校協働活動推進員対象

【令和7年度】

○全体的な動き

前年度モデル校の日進中学校と梨の木小学校に学校運営協議会を設置（本格実施）
日進中学校区、日進東中学校区の残りの学校と竹の山小学校の6校をモデル校に指定し、モデル事業を実施（残りの学校は、次年度のモデル校とする。）

- ・日進中学校区・・・北小学校、南小学校
- ・日進東中学校区・・・日進東中学校、東小学校、相野山小学校
- ・竹の山小学校

○モデル校の動き

6校において学校運営協議会（モデル事業）を年回3回実施予定

【令和8年度】

○全体的な動き

前年度モデル校6校に学校運営協議会を設置（本格実施）
モデル事業未実施の残りの5校をモデル校に指定し、モデル事業を実施

- ・日進西中学校区・・・日進西中学校、西小学校、赤池小学校
- ・日進北中学校区・・・日進北中学校、香久山小学校

○モデル校の動き

5校において学校運営協議会（モデル事業）を年回3回実施

【令和9年度】

前年度モデル校5校に学校運営協議会を設置（市内全校での本格実施が完了）

4 今後の展望と課題

（1）今後の展望

学校運営協議会が軌道に乗るまでは「学校支援」を中心に活動し、徐々に「地域貢献」にも目を向け、活動を充実させていく。（資料1参照）「地域とともにある学校づくり」を目指し、地域に根差した活力ある地域団体等と連携・協働体制を構築することで、地域の教育力向上や地域の活性化につなげ、子どもたちだけでなく、教職員、保護者、地域の人々にとって多くのメリットを生み出す、有益な活動になるように進める。

（2）今後の課題

○地域学校協働活動推進員の増員

現状は4名（令和7年度2名増員予定）

→各校に最低1名は必要、できれば複数が見込まれる。

○学校運営協議会、地域学校協働本部について、学校での専用部屋を設置

→学校によっては空き教室等がない。

○学校運営協議会を立ち上げた後のフォロー体制の整備

→会議体の拡充や委員の入替えなど、各学校での経年運営をフォローする事務局側の体制も必要である。（協働活動専門員の継続配置）

令和 6 年度 日進市立日進中学校 地域連携計画

	時期	活動	場所	参加者	備考
1	随時	登下校見守り隊	通学路	P T A 有志, 地域住民有志	Co
2	随時	ルビ振りボランティア	学校	ボランティア登録者	Co
3	5月	登下校安全指導	通学路	P T A 委員, 地域住民有志	Co
4	6月	和装体験(1年生)	学校	地域住民有志	
5	6月	日中健児を支える会(除草作業)	運動場	P T A 有志, 地域住民有志	Co
6	7月	登下校安全指導	通学路	P T A 委員, 地域住民有志	Co
7	7月	前期地域清掃ボランティア	北小学区	生徒有志, 地域住民有志	貢献
8	8月	むつみ苑交流ボランティア	むつみ苑	生徒有志	貢献
9	9月	登下校安全指導	通学路	P T A 委員, 地域住民有志	Co
10	10月	保育実習(3年生)	日東保育園	日東保育園	
11	10月	体育大会前グラウンド整備	運動場	地域住民有志	
12	10月	青葉まつりボランティア	中日青葉学園	生徒有志	貢献
13	11月	日中健児を支える会(ペンキ塗り)	学校	P T A 有志, 地域住民有志	Co
14	11月	職場体験学習に向けたマナー講座	学校	ボランティア登録者	Co
15	12月	登下校安全指導	通学路	P T A 委員, 地域住民有志	Co
16	1月	職場体験学習	各事業所	職場体験学習受入事業所	
17	2月	登下校安全指導	通学路	P T A 委員, 地域住民有志	Co
18	2月	むつみ苑交流ボランティア	むつみ苑	生徒有志	貢献
19	3月	後期地域清掃ボランティア	南小学区	生徒有志, 地域住民有志	貢献

※ 備考欄 Co: 地域学校協働活動コーディネーターによる連携支援 貢献: 生徒による地域貢献活動